SANUS SYSTEMS

LT25 壁掛け金具
取 扱 説 明 書

-----37V 型～ 90V 型のフラットテレビで、重量 79kg 以下に適用 -----

このたびは、LT25 のフラットテレビ壁掛け金具を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
LT25 は、＋ 8°ー 10°の上下方向の視野角調整と、更に ±2.5°の水平位置調整をする事が出来ます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。
販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

フラットテレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明してます。

⚠ 警告	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
⃠	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。
❗	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

⚠ 警告

⃠ 工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

⚠ 取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

⃠ 荷重に耐えられない場所には取り付けないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。
壁の強度は少なくとも LT25+ フラットテレビの重量の 5 倍の強度に耐える場所が必要です。

⚠ 警告

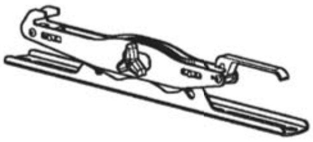
禁止	LT25 フラットテレビ壁掛け金具は、37V 型～ 90V 型で、総重量 79kg 以下のフラットテレビを、壁面に固定するものです。 90V 型以上、79kg 以上のフラットテレビの取付には、絶対使用しないで下さい。 この指定を守らないと、フラットテレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となります。
禁止	湿気やほこりの多いところや、油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。 又、エアコンの上や下にテレビを取り付けないで下さい。 テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。
⚠	組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。 ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。 指定を守らないと、テレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。
!	テレビの取り付けや取り外し作業は、２人以上で行って下さい。 テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。
禁止	取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。
!	壁掛け金具を組み立てたり、各工程に使用するネジは、下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や厚み等によっては、不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。
⊘	ネットワークジャパン株式会社は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の障害や、物品の損傷に対して責任を負いません。

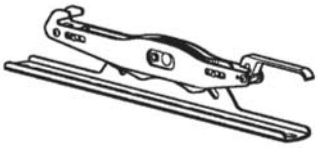
2．部品一覧表

梱包を開梱し、組み立てる前に次のＡ図と B 図の部品名と現品の形を確認しておいて下さい。

A 図

(A) 壁掛け金具本体 ･････ １コ


(B) テレビブラケット A･････ １コ


(C) テレビブラケット B･････ １コ

(G) M4 - 20mm ネジ ･････4 コ

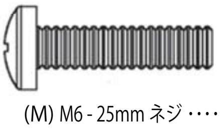
(H) M4 - 30mm ネジ ･････4 コ

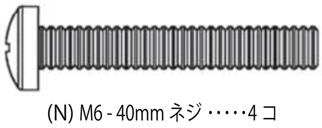
(I) M4 - 40mm ネジ ･････4 コ

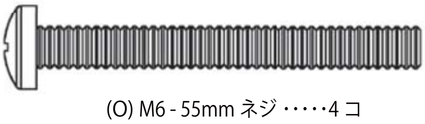
(J) M5 - 20mm ネジ ･････4 コ

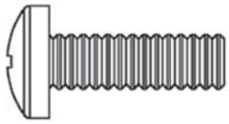
(K) M5 - 30mm ネジ ･････4 コ

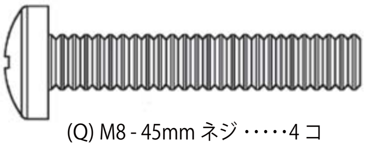
(L) M5 - 40mm ネジ ･････4 コ

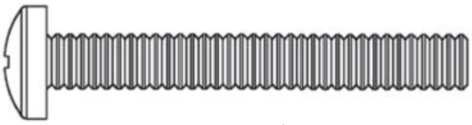

(M) M6 - 25mm ネジ ････4 コ


(N) M6 - 40mm ネジ ･････4 コ


(O) M6 - 55mm ネジ ･････4 コ

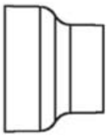

(P) M8 - 25mm ネジ ･････4 コ

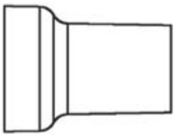

(Q) M8 - 45mm ネジ ･････4 コ

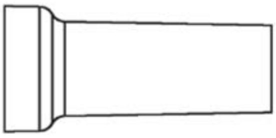

(R) M8 - 60mm ネジ ･････4 コ

(S) 4mm ｽﾍﾟｰｻｰ ･････4 コ

(T) 7mm ｽﾍﾟｰｻｰ ･････4 コ

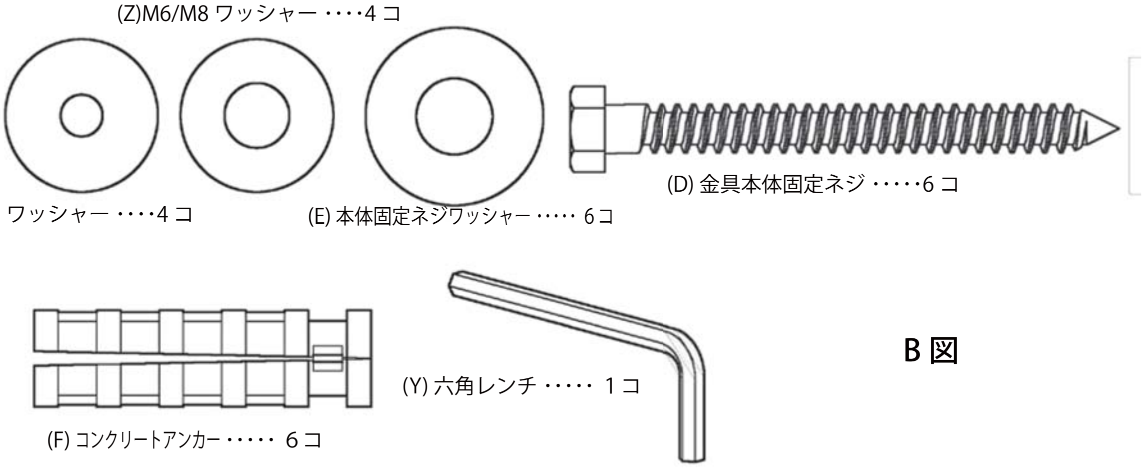

(U) 14mm ｽﾍﾟｰｻｰ ･････4 コ


(V) 24mm ｽﾍﾟｰｻｰ ･････4 コ


(W) 38m ｽﾍﾟｰｻｰ ･････4 コ

(X) 台座 ････4 コ

部品一覧表つづき



B 図

3　組み立てかた

1　壁掛け金具本体の壁面への取付け

⚠ 注意

壁掛け金具を取り付ける壁面は､最大 79kg のフラットテレビ +LT25 の合計重量の 5 倍を保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。　なお、この取り付け金具は、鉄柱や鉄骨には取り付けできません。
下記の「木柱及びコンクリート壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

***注意**：本体固定ネジを締めすぎないようにしてください。本体固定ネジ (L) は、本体固定ネジ用ワッシャー (O) が壁掛け金具本体 (A) に密着する程度に締めつけます。ドライウォールその他の材質の層がある場合は、このドライウォールなどの材質の厚さが 16mm 以下でなければなりません。この確認を怠ると、器物の破損やケガを引き起こす恐れがあります。*

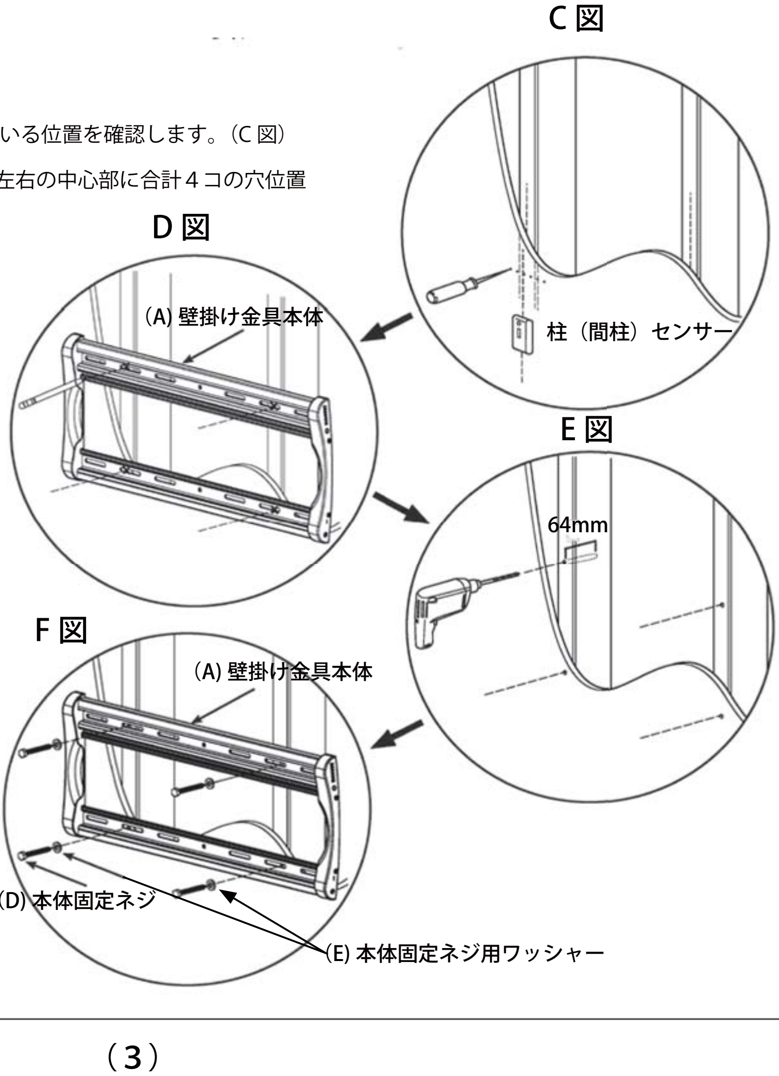
木柱への取付

（1）高性能の間柱センサーを使用して、間柱の建っている位置を確認します。（C 図）

（2）壁掛け金具本体 (A) を型紙代わりにして、間柱の左右の中心部に合計４コの穴位置に印を付けます。（D 図）

（3）次に、印を付けた位置に 4.8 mm のドリルを使って深さ 64mm の下穴を 4 個開けます。（E 図）

（4）この下穴に、４本の金具本体固定ネジ (D) と本体固定用ネジワッシャー（E) を使って、壁掛け金具本体 (A) を F 図 に示した通りに壁に取り付けます。



壁掛け金具本体の壁面への取付けのつづき

注意 ***：本体固定ネジを締めすぎないようにしてください。本体固定ネジ (L) は、本体固定ネジ用ワッシャー (O) が壁掛け金具本体 (A) に密着する程度に締めつけます。ドライウォールその他の材質の層がある場合は、このドライウォールなどの材質の厚さが 16mm 以下でなければなりません。この確認を怠ると、器物の破損やケガを引き起こす恐れがあります。***

レンガ、コンクリート、コンクリートブロックへの取付

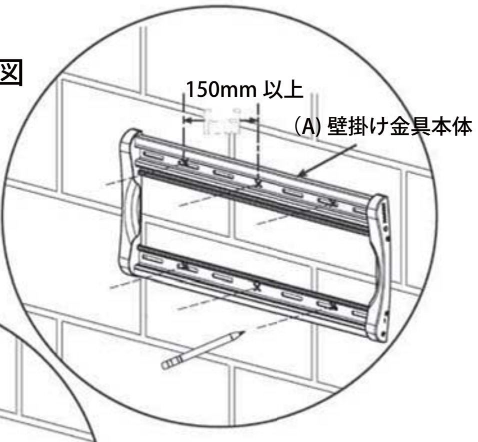
（1）壁掛け金具本体 (A) を型紙代わりにして、壁面に取り付ける６ つの穴位置に印を付けます。（G 図）
穴位置の相互間隔は 150mm 以上となるようにして下さい。

（2）印を付けた位置に、13mm のコンクリート用ビットで、奥行きが最低 64mm の下穴を注意深く６コ開けます。（H 図）

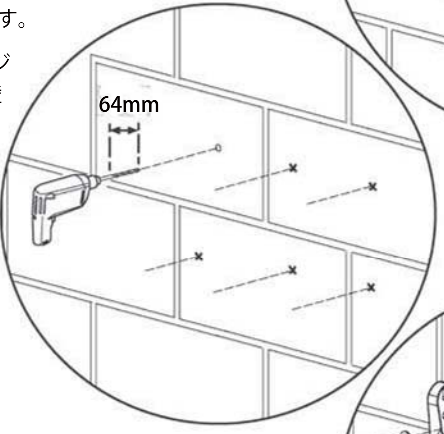
（3）各々の穴にコンクリートアンカー (F) を挿入します。

（4） ６ 本の本体固定ネジ (D) と、６ 個の本体固定ネジワッシャー (E) を使って、壁掛け金具本体 (A) を壁に取り付けます。
詳細は I 図を参照して下さい。

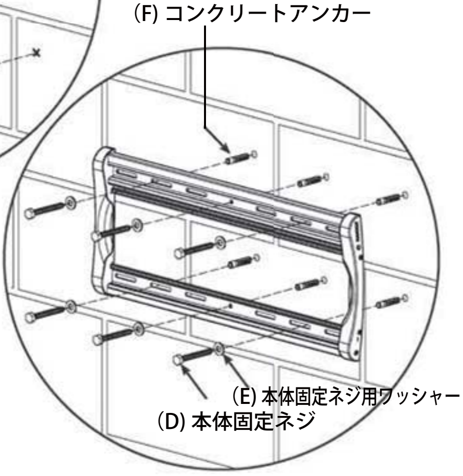
G 図



H 図



I 図



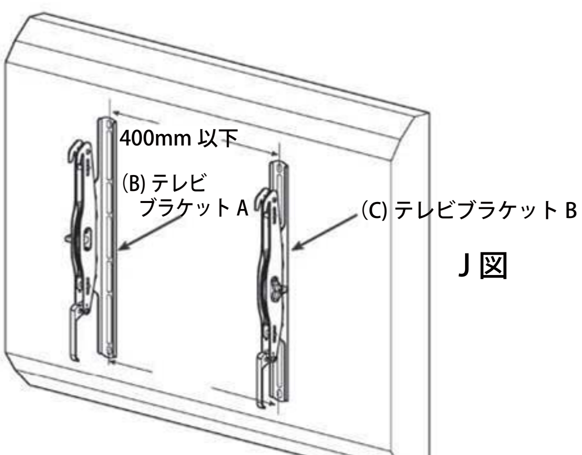
注意 ***コンクリートアンカー (V) は、必ずレンガ、ブロック、あるいはコンクリートの部分に取付ます。ブロックとブロックの間のモルタルには絶対に取付けないで下さい。ドライウォールやその他の材質の壁がある場合でも、コンクリートアンカーが、コンクリート面に対し平らに設置されていることを確認します。***

2．フラットテレビに取り付けるブラケットの間隔を調べる

（1）ご使用の薄型テレビの背面に開いている、テレビブラケット（B 、C) を取り付ける為の、横方向の穴位置寸法を調べます。

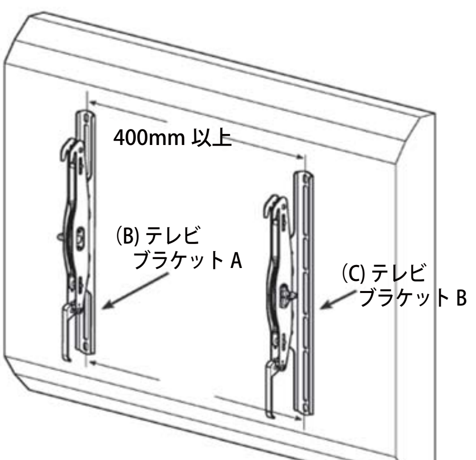
（2）もし、J 図のように、取り付け位置の間隔が 400mm 以下なら、４項に進みます。

（3）もし、K 図のように、取り付け位置の間隔が 400mm 以上なら、3 項に進みます。



J 図

K 図

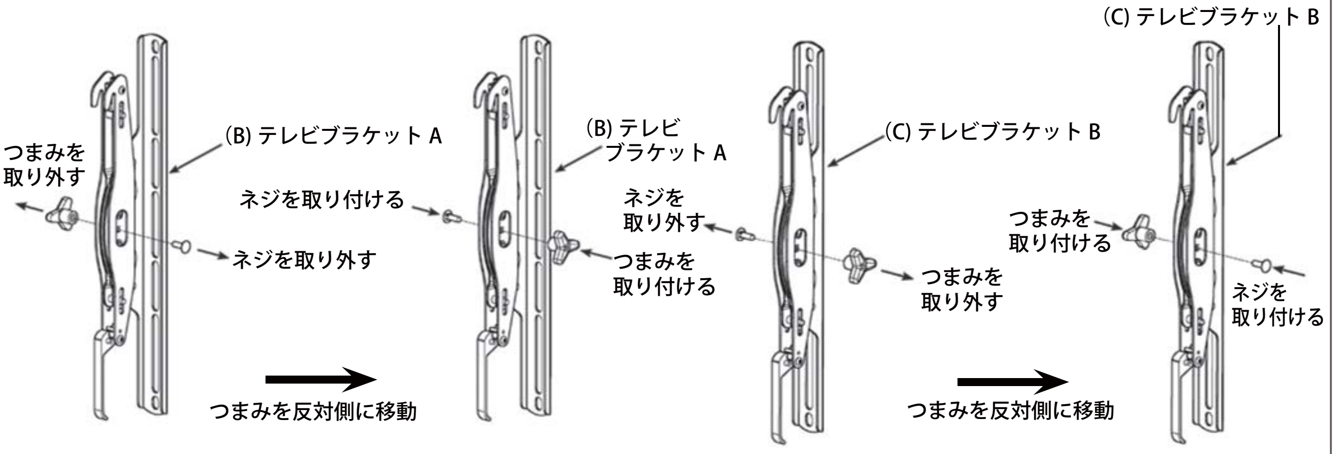


3　つまみの取り付け方向を変更する ----- フラットテレビの背面の取り付け穴が 400mm 以上の場合のみ変更する

（1）薄型テレビの背面に開いている、テレビブラケット（B or C) を取り付ける為の、横方向の穴位置寸法が 400mm 以上の場合は、L 図のようにテレビブラケット（B) の中央部のつまみを反時計方向にいっぱい廻しきって、つまみとネジを一旦取り外します。

（2）次に L 図の右側のように、つまみの取り付け方向を当初と反対側に移動させてから、ネジで固定します。

（3）同様に、M 図を参照して、テレビブラケット（C) のつまみも当初と反対側に移動させてからネジで固定します。



L 図　　　M 図

4　フラットテレビへのマウントの取り付け

フラットテレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

（1）フラットテレビを壁等のしっかりした場所に置きます。
フラットテレビのガラス面にキズが付くので、ガラス面を下にして床などに置かないで下さい。

（2）フラットテレビの背面に取り付けるテレビマウント (A) の場所を見つけ、そこのネジ穴の径を調べます。
M4 ネジ (G)、M5 ネジ (J)、M6 ネジ (M)、M8 ネジ（P) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。

(A 背面が平坦な薄型テレビの場合

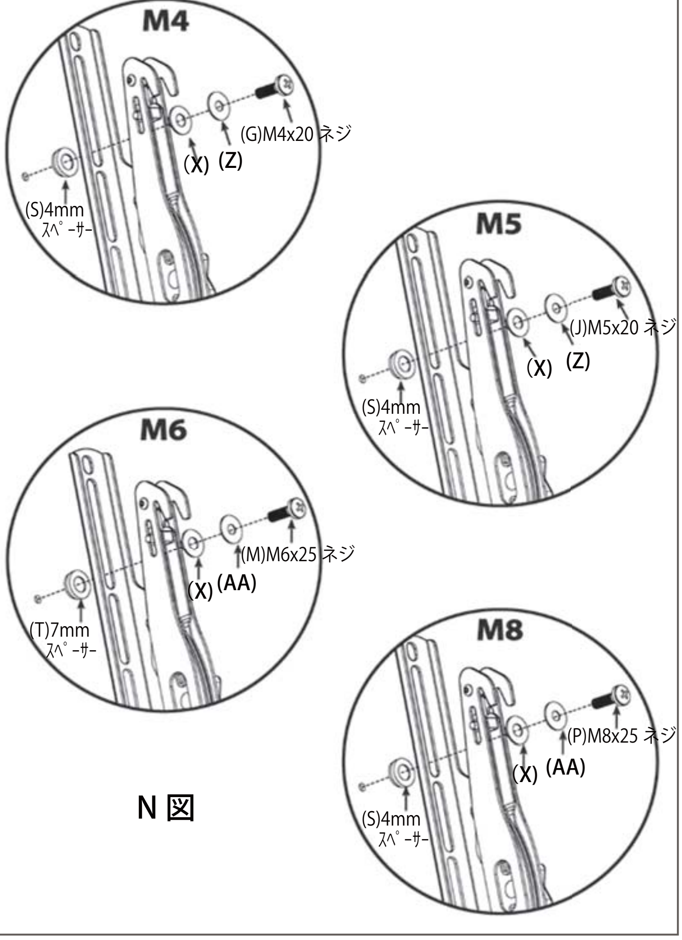
（4）先に調べたネジの径により、(G)M4x20 ネジ、(J)M5x20 ネジ、(M)M6x25 ネジ、(P)M8x25 ネジ、及び各ネジ口径に該当するワッシャー (Z)、又は (AA)、及び台座 (X) とスペーサー (S) 又は (T) を使って N 図のように薄型テレビにブラケットをしっかりと取り付けます。

(B) 背面が湾曲している薄型テレビの場合

（5）背面の湾曲が小さい場合は、6 ページに記載の O 図 -(1)、又湾曲が大きい場合は O 図 -(2) に従って下さい。

（6）湾曲の小さい場合は、(H)M4x30 ネジ、(K)M5x30 ネジ、(N)M6x40 ネジ、(Q)M8x45 ネジ、及び各ネジ口径に該当するワッシャー（Z)、(AA)、及びスペーサー（U)、(V)、と（X) 台座を使って O 図 -(1) のように薄型テレビにブラケットをしっかりと取り付けます。

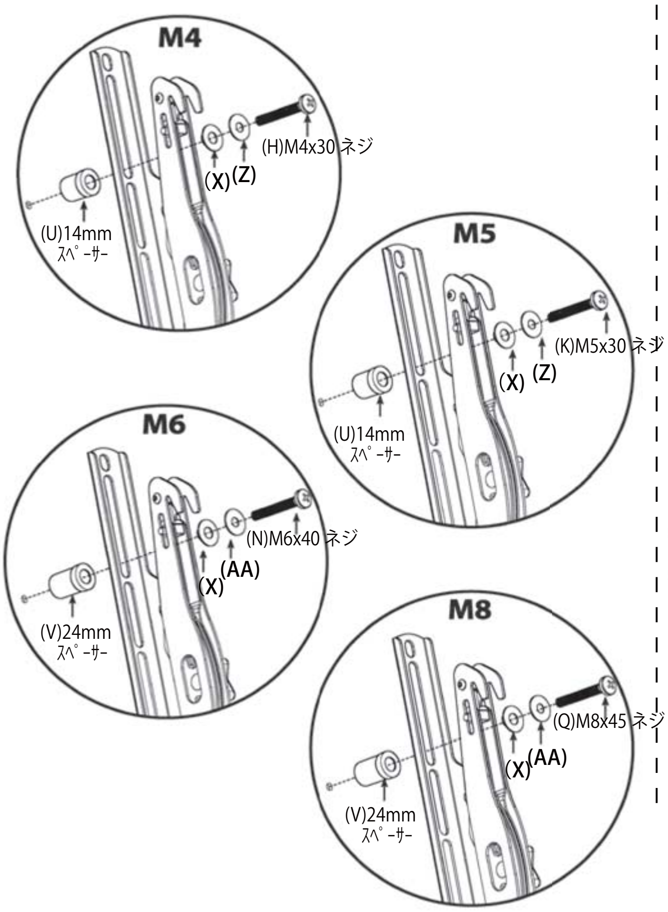
（7）湾曲の大きい場合は、(I)M4x40 ネジ、(L)M5x40 ネジ、(O)M6x55 ネジ、(R)M8x60 ネジ、及び各ネジ口径に該当するワッシャー（Z)、(AA)、及びスペーサー（V)、(W)、と (X) 台座を使って O 図 -(2) のように薄型テレビにブラケットをしっかりと取り付けます。



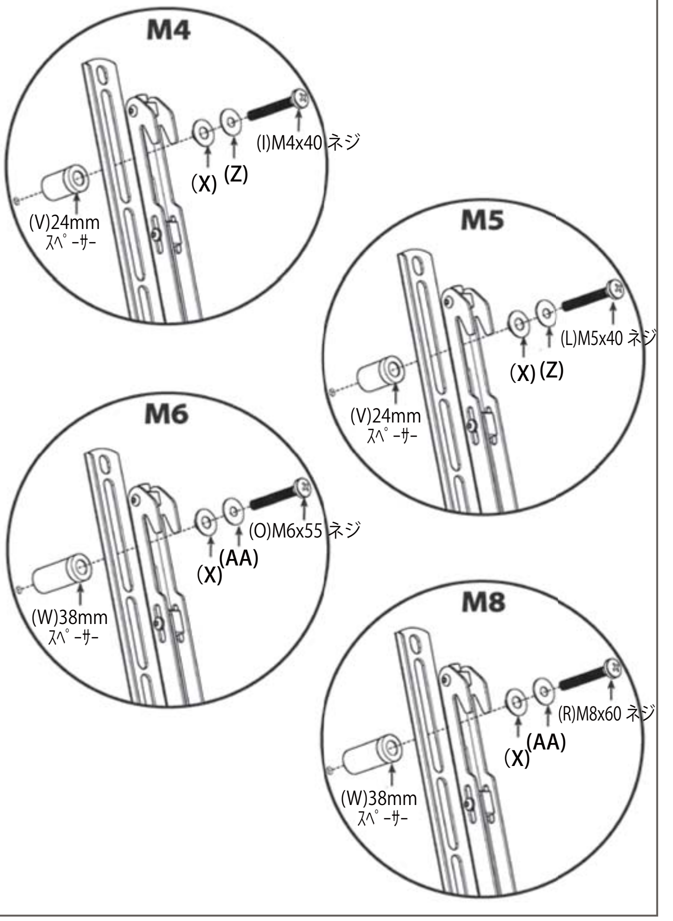
N 図

フラットテレビへのマウントの取り付けのつづき

O 図 -(1)　背面の湾曲の小さなテレビの場合



O 図 -(1)　背面の湾曲の大きなテレビの場合



6　フラットテレビを壁面に取り付ける

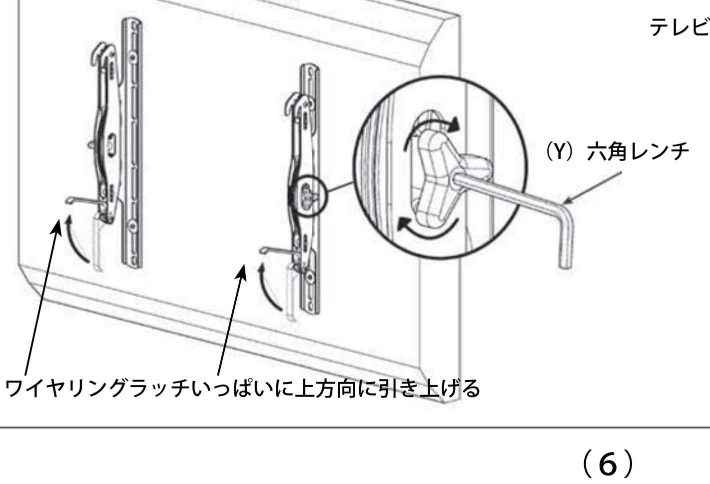
注意：フラットテレビはの取り付けは、２人以上で行って下さい。
テレビが落下してけがをしたり、テレビが破損する原因となることがあります。

（1）(Y) 六角レンチを使って、つまみをしっかりと締め付けます。(P 図)

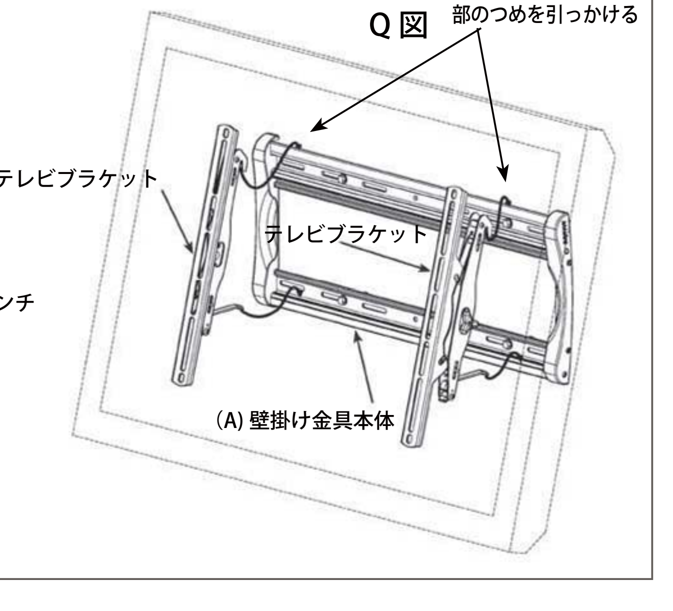
（2）テレビブラケット（B、C) に取り付けてあるワイヤリングラッチを、上の方へいっぱいに引き上げます。(P 図)

（3）テレビブラケット（B、C) の上部にあるつめを、壁掛け金具本体（A) の上に引っかけます。(Q 図)
この時、ワイヤリングラッチの先端が、壁掛け金具本体（A) にぶつかることにより、丁度突っ張り棒の働きをして、フラットテレビの下の方が前方に浮き上がります。ワイヤリングラッチの先端は、S 図の拡大図のようになります。

P 図



Q 図

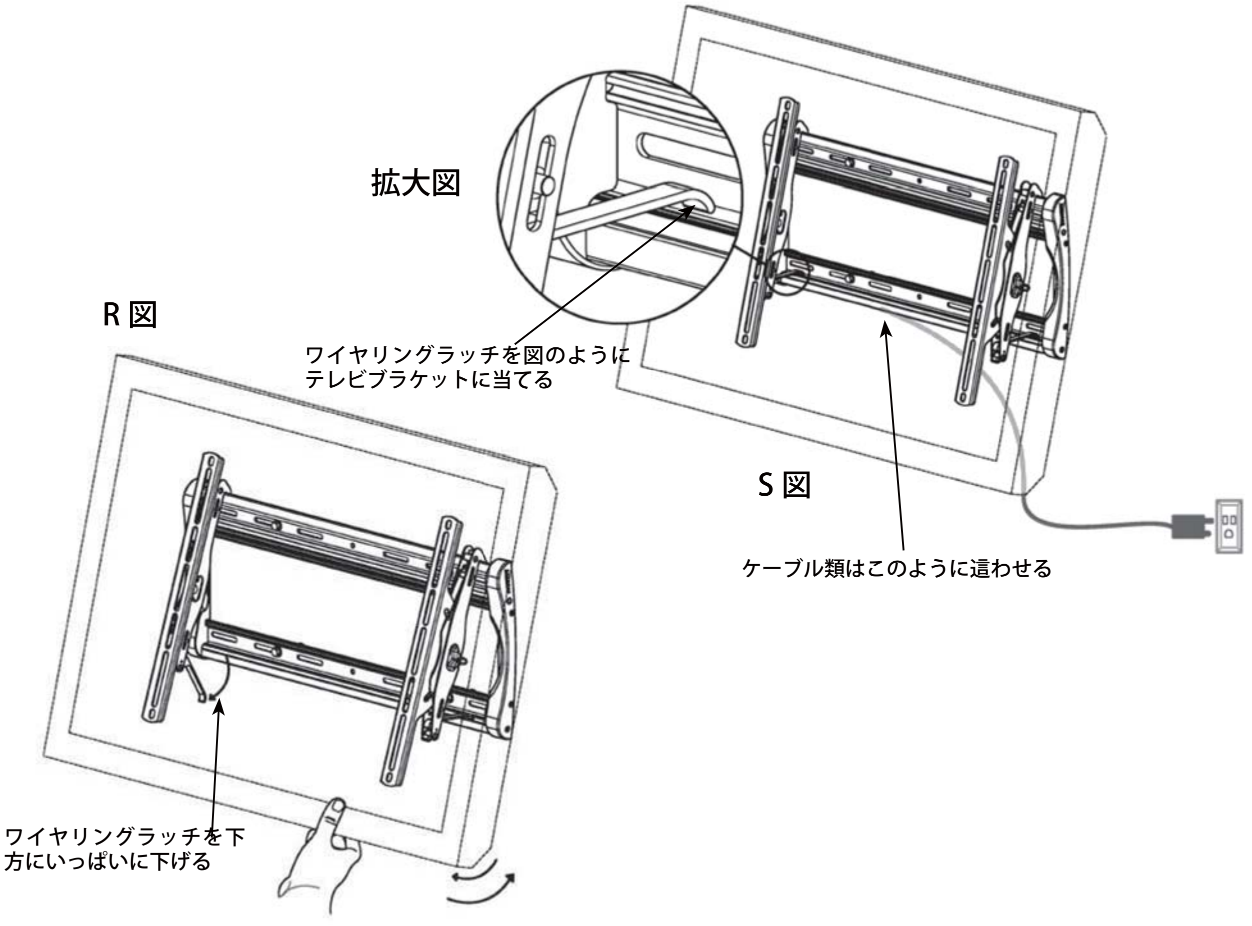


7　ワイヤリングの整理をする

（1）S 図の拡大のように、ワイヤリングラッチが、突っ張り棒の働きをして、フラットテレビが前方に傾いた状態にして、フラットテレビに接続する電源コードやアンテナ線や各種のケーブル類を整理整頓します。もし必要があれば、テープ等で壁掛け金具本体に固定します。

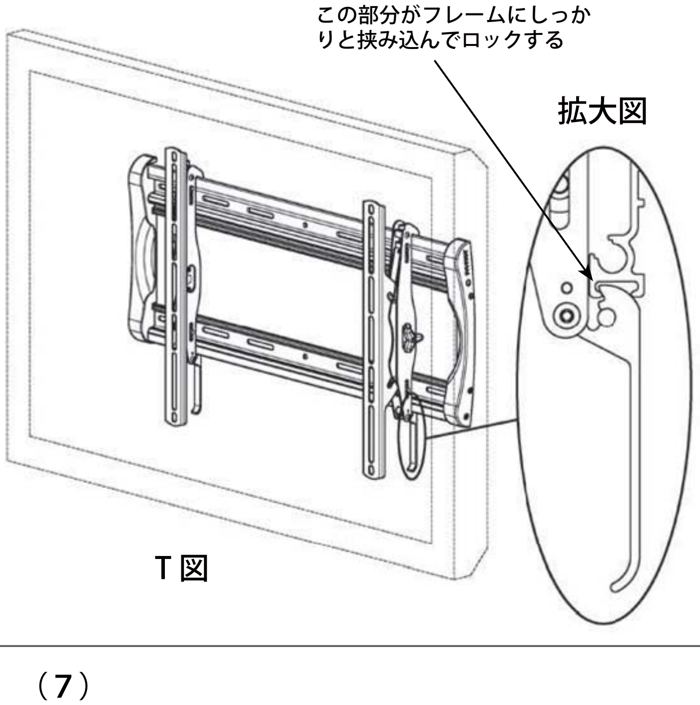
（2）R 図のように、フラットテレビの下方を手前に少しだけ持ち上げて、ワイヤリングラッチを下の方へいっぱい倒します。

（3）次に、フラットテレビに手を添えて、壁掛け金具本体（A) に静かに接触させます。



8　フラットテレビを壁掛け金具にロックする

（1）T 図の拡大図のように、ワイヤリングラッチの先端部が、壁掛け金具本体（A) の最下部のフレームに挟み込むように、ラッチを壁面方向にいっぱいに倒します。



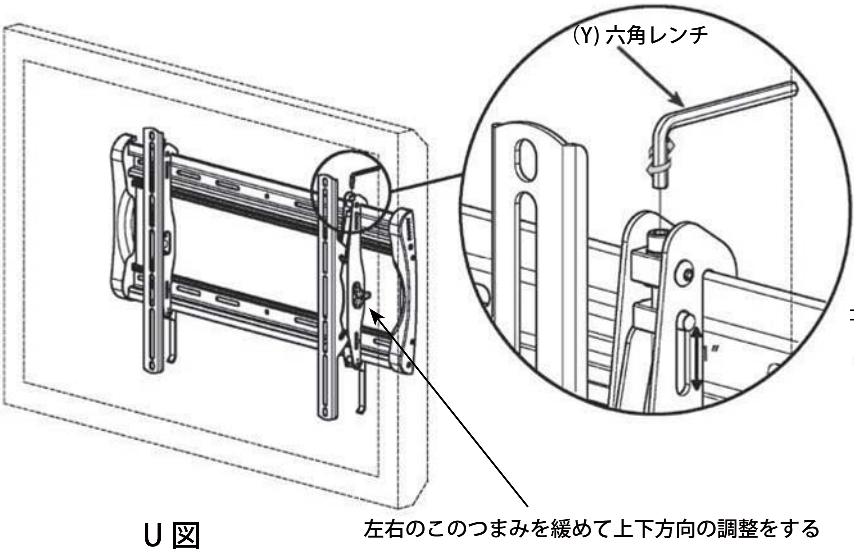
9　フラットテレビの水平方向、及び上下方向の調整

（1）ワイヤリングラッチで、フラットテレビが壁掛け金具本体に確実に固定したら、テレビの水平方向の調整が出来ます。

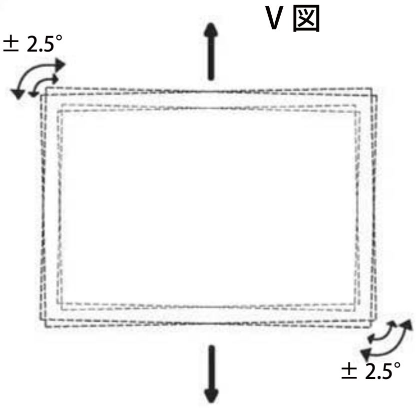
（2）テレビブラケット（A）及び（B）の上方にあるネジを、緩めたり、締め付けたりする事により、フラットテレビが上下に移動します。
時計方向に廻すとフラットテレビが下方向に下がり、反時計方向に廻すとフラットテレビが上方向に移動します。

（3）一つのブラケットで、約± 2.5 度の角度調整が出来ますので、二つのブラケットで合計 ±5 度の水平調整が出来ます。（V 図）

（4）最後に、左右のテレビブラケットの中央部にあるつまみを緩めてから、フラットテレビが、お好みの上下方向の視角となるよう
に調整します。調整が完了したら、つまみを再度しっかりとねじ込みます。



U 図

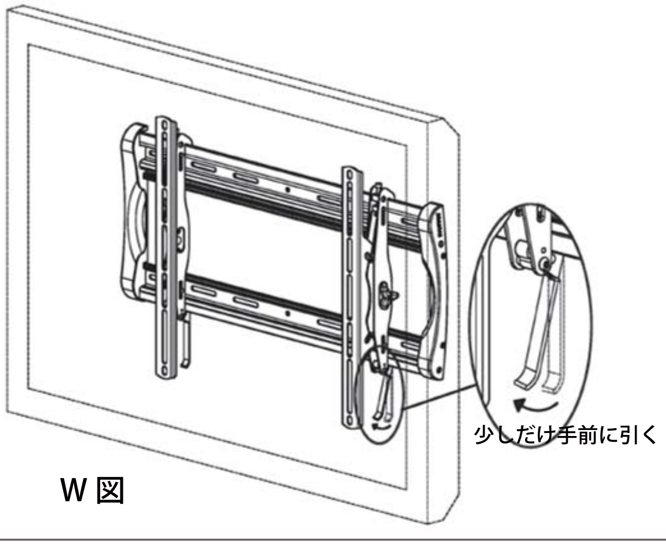


V 図

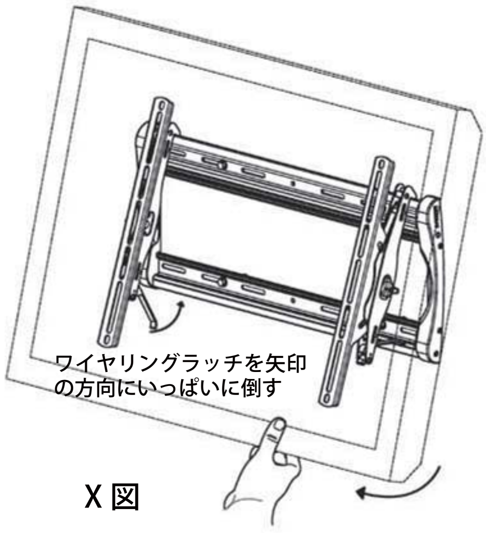
以上で組み立ては完了です。

9　フラットテレビの取り外し方法

（1）フラットテレビを壁掛け金具から取り外すには、左右のブラケットの下部にあるワイヤリングラッチを、手前に少しだけ引っ張り出
します。（W 図）　次に X 図のように、フラットテレビの下部を前面方向に持ち上げて、ワイヤリングラッチを後ろ側にいっぱいに
倒してから、壁掛け金具本体にかるく接触させれば、フラットテレビの取り外しが可能になります。



W 図



X 図

Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ
〒 559-0031　大阪市住之江区南港東１丁目２－１６
ネットワークジャパン株式会社　TEL : 06-6612-2008　FAX : 06-6612-2050

http://www.network-jpn.com/　E-mail : info@network-jpn.com